

智慧と行動力で三宅再生  
汗をかいて仕事をします  
！  
！

# 志野の たかし 尚司

政治の貧困に真っ向から取組みます。誰かがいつかやってくれるという幻想は捨て、政策は英知を結集し是々非々で

産業政策・地域政策・土地政策のみえない町。大阪万博・リニア開通をも睨み、職員・専門家とも一体となり、是を是とし非を非とする態度で臨みます。また、高い志と強い意志を持った町政を実現。みんなで力強く三宅町再生に立ち上がり、笑顔のこぼれる町づくりを目指そう！

**町民の安心・安全・人権を守ります。災害対策、治安維持、弱者救済**

治安維持・弱者救済・リベンジのできる町に努めます。自然災害については、自助・共助・公助を明確にして、国・県・上下流市町村と協力し物申し、防災・減災に努めます。近隣市町と戦略的友好関係に努め、広域行政に全力を尽くします。長寿社会から福寿社会を目指し、健康寿命の延伸を図るとともに、親が安心して子育てし易い環境整備に努めます。

**経済を活性化します。人口減少、成熟社会にふさわしい新しい産業・経済政策で**

成長産業を推し進めるとともに、地場産業の育成、文化伝統等の地域資源を活用して経済・地方を活性化させます。介護等社会ニーズの高い分野で雇用の創出を行います。グリーンインフラを活用し企業と連携し人を呼び込みます。

**地方を元気にします。環境等多面的機能を評価してバランスよく**

古墳群などロマンのある屯倉（みやげ）。農工商連携・六次産業化を支援します。栄えている先進国や県は農工商バランスよく一体となり推進。直接補償や交付金により地方を活性化し、自然や農業の有する多面的機能を生かして、人と自然が響き合う町を目指します。

**取り戻します。町民の精神性 自信**

戦後七四年が経ち独立国家にふさわしい国政を論じる町政を目指します。いじめ、引きこもり、自殺対策などにも、寄り添って取り組みます。「互いさん」などの日本の豊かな精神文化を尊重し、情・意を重んじる町を推し進めます。

## 笑顔のこぼれる町づくり

# 明日に希望が持てる三宅に、捨て身で取り組む！

- 志野尚司プロフィール
- 昭和33年生まれ。水泳が特技（三宅小以来）。妻と一男一女
- 三宅幼・小・式下中、畝傍高、京都大を経て、農林水産省に入省
- 本省（災害対策室長、国際局、農村振興局）、地方農政局、JICA・海外経済協力基金・水資源開発公団（いずれも本部）、ベトナム国政策アドバイザー等歴任
- 法案作成、政策立案、地場産業育成、ICT、道の駅、マクロ経済、再生可能エネルギー、水力発電・道路等インフラ整備など国内外で担当、世界銀行や政府間協議のためワシントン等世界33ヶ国訪問



## 町が国を動かした三宅町を創る！

私は故郷を離れて中央省庁等で約四十年間勤務してきました。この間、ひと時も故郷である三宅町を忘れたことはありません。海外勤務時も含め、全国のどんなに遠方からでも祝日や農繁期にはできるだけ仕事の都合をつけ帰省してきました。母が亡くなってからも、毎週東京から或いは名古屋からも三宅町に戻り、人一倍面積のある農作業や自治会の活動などに携わってきました。

しかしながら、愛する三宅町は何年か前に財政危機が叫ばれ、今は過疎地域となつています。大阪に近い町が、盆地で「ポツンと一町」過疎地域に何故ならねばならないのか、何故国が準備した制度をもっと利用しないのか、歯がゆい思いを禁じ得ません。コロナ対策、産業及び福祉政策等々いずれも町の姿勢が非常に重要です。

これまでの様々な経験と人脈をフルに生かして、町へ還元したいとの思いで一杯です。そして有り余るエネルギーで国に制度を提案するなどして、「豊かで競争力のある産業の育成」、「美しく活力ある町づくり」、「災害に関し「強くてしなやかな町づくり」を行い「課題解決型先進町」を目指す必要性を感じます。

現住所 但馬

昭和五八年 農林水産省本省採用

昭和六二年 国際協力事業団本部 マスタープラン作成他

平成元年 農水省構造改善局 広域農道

平成四年 農水省経済局 技術協力

平成七年 海外経済協力基金本部 円借款オペレーション（地場産業の育成、

電力ダム、国道他多数のプロジェクトの審査等）

平成一二年 水資源開発公団本社（大規模水利施設の法手続き、事業計画等）

平成一四年 ダム廃止規定を含む法案策定

平成一五年 黄砂、塩害、貧困緩和、復旧復興、砂漠化防止プロジェクト等の企

画・立案・実施

平成一七年 ベトナム中央省庁で政策アドバイザー

平成二二年 農水省 災害対策室長（全国で多発する地震・豪雨・地すべり・竜

巻・漂着ごみ災害等に政府調査団として参加）

平成二五年 （二社）地域環境資源センター（生物多様性等環境全般）

この他、入省から平成三一年に退職するまでの間、東北・関東・東海・近畿・九州の各地方農政局等で、大ダム他を含む公共事業全般・水利行政・先駆的再生可能エネルギー・災害に強い水利システム構築等にも取り組み、法案作成、各種制度設計、予算編成、利害関係者調整等に携わる。

大臣賞（職員表彰）、学会賞（農業農村工学会）他受賞